

# マンガ学科

## 教育目標（育成する人材像）

マンガは読む人の目に直接訴える視覚言語であり、一瞬で大量の情報を伝達できる手段でもあります。とりわけ「ストーリーマンガ」は日本独自の発展を遂げており、すでにサブカルチャーの域を超え、「日本文化」として世界中に認知されています。本学科ではマンガ家を育てるとともに、視覚言語を通してコミュニケーション力を培い、社会のあらゆる分野で活躍できる就業力を身につけた人材を育てます。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

### 修得する能力

|            |  |
|------------|--|
| 探求力        | 好奇心を持って物事をよく観察・調査し、課題や可能性を発見することができる。      |
| 思考力        | 知識と経験をもとに、人間や物事の関係性を学び、考察を深めることができる。       |
| 発想・構想力     | 柔軟な思考からアイデアを作りだし、それを具現化するための工程を構築することができる。 |
| 表現力        | 自身がイメージしたことを、他者へ的確に伝えることができる。              |
| 行動力        | 目的に近づくための計画を自ら立てた上で、それを遂行することができる。         |
| 継続力        | 目標達成に対し、強い意志を持って粘り強く取り組むことができる。            |
| コミュニケーション力 | 他者の意見や価値観の多様性を理解し、多くの人々と交流することができる。        |

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

マンガは文字だけの場合に比べて遥かに高い情報伝達力を持つ表現手法であるため、一般企業においても既に重要な広報ツールとして理解されており、今やマンガを使った就業は出版社を中心とする従来の商業マンガ家のみにとどまらず、多岐に渡っています。そのため本学科では情報を明確に分かりやすく伝達するスキルを学ぶことにより、キャリアデザインに活かすカリキュラムを編成しています。

### 学修方法

グループワークを積極的に導入することで、他者との意見交換に慣れ、他者の視点を想像し、問題を認識・解決する能力を養います。また1年次より出版社への持ち込み・投稿を通して会社訪問や職業意識の向上に努め、産業界と大学が協力して授業を行うことにより実地的な経験を積む方法を用いています。

### 学修過程

- 1年次：発想法や表現技術の基礎を学び、多様な表現方法を体験します。
- 2年次：基礎編から応用編に移り、必要な専門技術を自ら選択して深めると共に、マンガを取り巻くビジネスについても学びます。
- 3～4年次：インターンシップ、学内外のコンペティションを通して社会と自身の接点を探り、あらゆる分野で活躍できる人材となることを目指します。